



'94
広報

2月号
No. 403

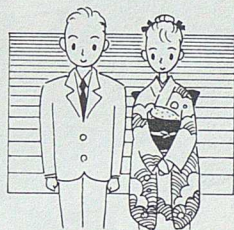


コーラス教室の発表会

(1/30 公民館まつりで...)

責任ある自由への出発点に：

20歳を祝い「新成人のつどい」



大人への旅立ち、二十歳を祝う「新成人のつどい」が一月十五日の成人の日、玉造町中央公民館で行われました。会場内は中学校を卒業して五年ぶりの再会を楽しむ晴着姿で、あでやかな雰囲気。式典では、成人者を代表して高野和之さん（上宿）と小沼博美さん（西蓮寺）が二十歳への誓いを発表しました。「大人になることは自由になることだと思っていたが、それが間違いだと気づいてきた。自由と同時に義務と責任という代償を負わなくてはならない。私は今大学生だが、責任ある自由への出発点として頑張りたい」（高野）

「私は大人になつて決断力と発言力を身につけたい。つまり自分の言葉で主張できるようにになりたい。そうすれば自分に自信が持てるようになれるのではないか。まだ歩きだしたばかりで実感がわかないが、立派な大人になりたい」（小沼）。

途中、羽生ばやしのアトラクションが会場内を盛りあげ新成人たちは思い思いに話の輪をつくっていました。



坂本町長から成人代表者に成人証書の授与



感想を述べる高野和之さん



感想を述べる小沼博美さん



生活大学の「紙すき体験コーナー」。牛乳パック再利用によるハガキ作りに挑戦



親子の広場「木目込人形」

はかま満緒さんが講演

～公民館まつり～

「第13回公民館まつり」が、1月22日～1月30日まで開かれました。はかま満緒さんの特別講演会をはじめ、公民館受講生による作品や小中書き初め展などが展示され、親子姿が目立ちました。



ハンドベルを演奏する谷島わかば会。美しい音色を響かせました。



小中学生の書き初め展



ほたる灯による「みんなで作る手作り小物入れ。手作り品バザーもありました。

議長に平間豊蔵氏、副議長に金井新次郎氏を選出

平成六年第一回玉造町議会臨時会が一月十七日に招集され、第十六代議長に平間豊蔵氏が選ばれました。また、副議長には金井新次郎氏が選ばれました。

議長に選ばれた平間豊蔵氏は議員七期目、副議長の金井新次郎氏は三期目で、両氏の議会運営手腕に大きな期待がかけられています。



「笑う門には健康来たる」と題して講演するコント作家のはかま満緒さん。



読書感想文コンクール入賞者

(敬称略)

賞名	なまえ	学校・学年	題名
町長賞	政所 麻結子	羽生小6年	「車輪の下」のハンスと私
町議会議長賞	高塚 智子	手賀小6年	「ぼくたちは池田先生を忘れない」
教育長賞	安達 恵	現原小5年	「40本のカーネーションにつつまれて」を読んで
	高野 幸子	玉川小2年	「さっちゃんのまほうのて」を読んで
	中桐 麻友子	玉造小1年	あばれざるジニーくんへ
	市村 彩夏	玉造小3年	「山ざくら通りのふしぎな声」を読んで
	小貫 美奈	玉造中3年	「風葬の教室」を読んで
教育部会長賞	舟 申 寿映	玉造西小6年	がんばれ！キミは盲導犬
	高野 哲史	玉川小3年	「のはらうたII」を読んで
	金塚 康夫	玉造中1年	「狼森と策森と盗森」を読んで
図書館長賞	飯島 典	羽生小4年	二本足の犬ベアを読んで
	市村 佐和子	玉造小5年	「海からの手紙」を読んで
	鈴木 晴人	玉造中1年	「坊っちゃん」を読んで
佳作	石橋 貴子	玉造西小3年	ぬすまれた教室を読んで
	生井沢 舞美	現原小6年	「森のホワイトクリスマス」を読んで
	中桐 優太	玉造小4年	宇宙生活・シャトルのひみつを読んで
	理崎 志津香	手賀小2年	「ふしぎなふしぎなめぐのかさ」を読んで
	川島 生恵	玉造中2年	「うしろの正面だあれ」を読んで
	滝 愛美	玉造中2年	「おばあちゃん」を読んで
	小沼 洋子	玉造中3年	「フック」を読んで

図書館主催読書感想文コンクール

町長賞は政所麻結子さん(羽生小6年)の作品

町立図書館主催による「平成五年度読書感想文コンクール」の表彰式が、一月二十七日に図書館で行われ、町長賞に羽生小学校六年生の政所麻結子さんの作品が選ばれました。コンクールには町内の小中学生から一千百三十三名の応募があり、審査の結果二十人が入賞。審査にあたった現原小学校の小峰幸子先生は「応募作品はどれもすばらしかった。これからも心を動かすすばらしい本と出会い、もっともっと心の豊かな人になってください。期待しています」と述べました。入賞された方の中から町長賞・議長賞・教育長賞に選ばれたみなさんの作品を紹介します。

(町)(長)(賞)

「車輪の下」のハンスと私

羽生小 六年 政所麻結子

主人公のハンスが、車輪の下じきになって死んでしまった十九世紀末のドイツ。それから約一世紀たった、二十世紀末の日本で、私も今、中学に進学する時期を迎えている。私は入学試験はないが、ハンスは難関をのりこえ「神学校」へ入学した。そこまではハンス自身も、選ばれた者として得意であったにちがいない。だが、「神学校」でまっていたのは、ひたすら勉強することだけを強いる先生と、自己中心的なクラスメイトだけだった。

でもハンスは努力した。白いやせた顔や細い指、おどおどした気弱な眼、そしていつも頭痛をうったえながら。

人は誰だって、自分で考え決心したことのためなら、少々つらくても目的にむかって努力していける。そして、そのまわりには両親や、尊敬できる先生、悩みを話し合える友人もほしい。そうしたらがんばっていきける。

けれどハンスはちがっていたのだ。私がこの本を読んで不思議に感じたのは、ハンスが何ひとつとして自分の気持ちで行動していないということだ。このことに気付いた時、私はこの本の題名の意味が分かったと思った。ハンスは自分で選んだ道を歩いていない。つまり、父親やまわりの大人達の望む道、レールの上を歩かされている。そして、歩きつづかれ、倒れたのだ。「車輪の下」というのは、

多くの人々がハンスにかけていたプレッシャーであり、また世の中のしくみの重さだと思う。ハンスは世の中のしくみの重さにつぶされたのだ。

現在の私達にとっても、これから中学、高校、大学と試験に追われる毎日が待っている。ハンスと同じだ。いや、そうではない。ハンスには自分で考え、自分で選ぶということが何も許されていなかった。彼の前には、父親や先生のいう通りに行動して生きていくという道しかなかった。だが、私達はちがう。私達はいろいろとしている学校の門はたくさんある。両親や先生に自分の希望を聞いてもらえる。そして自分が進もうとするところを自由に選べる。それは、はつきりハンスの場合とはちがっている。私達は幸せだ。

勉強するというのはどういうことなのか、なぜしなければならないのか。私もすぐに答えることができない。私の両親は「学校というところは、困難にぶつかった時に、自分で正しい答えが出せるための頭の訓練をしてくれるところなのだ」と話してくれている。私にはまだその意味がよく理解できないが、これからはずっとその意味を考え、自分の生きる目的をしっかり持って、これからの私自身の進路を、私なりの人生を胸をはって歩んでいきたいと思う。私を待っている様々な困難。それにぶつかった時こそ、今の気持ちを思い出して重みをはねのけ、自分をさらに成長させていきたいと思う。私は、車輪の下でつぶされたくはない。強く生きていきたい。

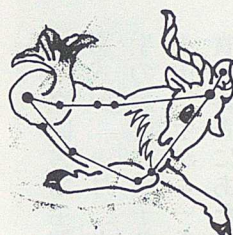
(議)
(長)
(賞)

「ぼくたちは池田先生を
忘れない」

手賀小 六年 高塚 智子

「だれも好きで病気になる人はいないんだ。」
 どんなにしたってくれる人達がいても、自分の生き方に感動してくれる人がいても、社会はとも冷たい。私はそう思った。池田浩己さんは、重い「障害」を持っているために大学や役所に受け入れられなかった。

私は今まで、歩くこと、話すこと、見ること、聞くことは、あたりまえだと思っていた。しかし、社会には、私があたりまえだと思っていることができない人、ふつうに生活することができない人がたくさんいる。目が見えない人、耳が聞こえない人、手足が自由な



(教)
(育)
(長)
(賞)

40本のカーネーションにつつまれて

現原小 五年 安達 恵

た。お母さんは、死んでしまいたいほど苦し
かったと思います。それでも、お父さんの、

「手術して命が助かるなら迷うことはない。」という一言で立ち直ったお母さんは、本当にすばらしいと思います。成功するかしないかわからない手術をずっと見守っている朋美さんの両親は本当に強いんだなあと思いました。いえ、そうしなければならぬ状況に追い込まれているのかもしれないと思うとよけいづらく感じました。

やりました。手術は成功したのです。私は思わず拍手したい気持ちになりました。私でさえこんななうれしいのですからご両親の喜びは想像もできません。きっと私が大人になって子供ができて、初めてわかる喜びなのかと思います。

私も、骨端炎という病気で今までやってきたミニバスケットをやめなければならなくなりました。はげしい運動をやることとひざが痛く

(教)
(育)
(長)
(賞)

「さっちゃんの
まほうのて」を読んで

玉川小 二年 高野 幸子

「おかあさん、ほうたいでぐるぐるまきいたこの右手、なんとかしてよ。もうやだよ。なんにもできないよ。」

わたしはなきながら言いました。くやしくてなみだがあとからあとからでてくるのです。

人、頭に障害がある人。ほかにも、私の知らない難病に苦しんでいる人がたくさんいるだろう。そんな人達が一番望んでいることは、いったい何だろうか。池田先生が一番望んだのは何だろうか。

池田先生が一番望んでいたことは、少しでも社会にかかわって生きていきたい、ということだった。私なら、難病であるということにとらわれすぎて、何もできないで死んでしまふと思う。自分の生きがいなんて見付けることもなかっただろうし、積極的に生きようとはしなかったと思う。

池田先生が、筋ジストロフィーという難病であっても、決してくじけなかったのは、父母や、学校の担任の先生や塾の生徒達がいたからだと思う。父母は「浩己はいつか治る。」と信じて、浩己の世話を中心とした生活を送った。先生達や塾の生徒達が、池田先生を手助けしたのは、池田先生と生活することによって、生きがいを感じていたからにちがいない。

私は、名前のない塾の生徒達のようになり
たいと思った。「かわいそう」だから池田先
生のことを、ボランティアで介護したのでは

なく、「先生であり、友達であるから」 介護

したというところに、心を打たれた。下の世話を、何もためらうことなく、なにげなく行っている姿を、私はすばらしいと思う。それに、これはだれにでもできることではないと思う。他人の世話をするということは、心がつながっていないければ、ぜったいにできない。私は、そう思う。

それに対して、大学や役所はどうだろうか。重い障害をもっているために受け入れてくれない、なかつたり、身体検査で不合格にしたり、まったく通り一辺の考え方ではないか。たしかにまだ障害がある人を十分に採用することはできないのかもしれない。でも、もつとそんな人達の活やくの場をつくってほしい。

町に出れば、障害者が目に付く。そんな目は、「差別」の目だと思う。同じ人間でありながら、少し不自由なところがあるというだけで、回りから見はなされてしまう障害者。その人達の苦しみは、同じ病気の人でなければ、分かり合えないだろうか。しかし、私はそんな人達のなやみを理解し、多くの活やくの場のある社会を作っていかなければと思う。

この本は、障害を持っていても強く、そしてたくましく、短い一生を生きぬいた坂見朋美さんをつづった本です。

生まれてすぐに、お医者さんから「心臓病です。」と言われた、お父さん、お母さんはどんな気持ちだったでしょうか。生まれてすぐに手術を受けなければならぬわが子と思う、両親の苦しみは、はかりしれないと思います。

なる病気です。でも、朋美さんの心臓病に比べたら、ほんの小さなことです。

朋美さんはたくましく、自分が病氣だということもかくさず、質問されたら答えるという堂々とした態度です。私だったらできただろうかと考えこんでしまいました。

朋美さんのたくましさは、他にもあるのです。みんなと同じ中学校へ行きたいと言ったことです。私にはできない決断だと思います。そんな意志の強さはどこからくるのでしょうか。中学校へ行ってもいいと言われた朋美さんの喜びは大きかったと思います。中学校へ行くことなんかあたりまえと考えている私。朋美さんにとってはきせきに近いこと。そう思うとなげなく学校生活を送っている今の自分を反省させられます。あたりまえに思っていることが、こんなに幸せなことだったなんて。

あれほど望んでいた中学校生活。もうすぐ



二年生になるという三月十九日、朋美さんは精一杯生きた短かい人生を閉じました。同級生がもってきてくれた四十本のカーネーションにつつまれて。

短くても、精一杯生きた朋美さんの一生を知って私は思いました。私も朋美さんのように短くても長くても、精一杯生き、一日一日を大切にしたいと。そして、朋美さんのように、出会った人を幸せにできたらと。

私は、朋美さんに出会えて本当によかったと思います。朋美さんの生き方は、これからの私の人生にとって強いはげみになりました。

セロテープでしっかりとめたはずのあみぼうがうごいて、ぜんぜんできませんでした。ペーじをめくるのより、あみものはずっとずつとむずかしかったです。わたしはいじがやけてきてまたないでしまいました。

妹の明子はゆびをじゆうにつかつてあそんでいます。おかさんもゆびをじゆうにつか

つてしごとをしています。もうどうにもがま
んができなくなりました。 なきながら自分で
ほうたいをはずしました。 はずしおわってゆ
びがじゆうにうごかせるようになったとき、
心からすつきりしたなあと思いました。

みんなから、仲間はずれに遭い、担任の先生にまで、ひどい態度をとられてしまっています。普通なら、杏に同情するだけで終わってしまふと思いますが、私は杏の生き方や、考え方にとても興味を持ちました。それは、私自身が転校生であり、そして杏のような気持ちになっただけがあるからです。

知らない土地で、知らない友達の中に一人で入っていく、それだけでもとても勇気がいるというのに、いじめに遭った子どもも悪いという意見を聞くことがありますが、みんながみんな悪いわけではないと思います。かと言って、いじめた方が悪いというのではないけれど、いくらいじめられないように注意していても、止められないものがあるのだと思

います。心がまだ不安定で、集団行動によって流されてしまう子供などは、自分のしていることに悪気を感じません。中には、なぜいじめられているのか、分かっていない子もいます。私は、杏のようにいじめには遭いませんでした。でも、みんなが経験するように、からかわれたりしました。だんだん慣れたけれど、初めはすごくショックでした。一番傷ついた言葉は、

「転校生のくせに生意気だよ。」

「転校して来なくても良かったのに。」

という言葉でした。その人は、からかい半分で悪気はないようでしたが、何よりも傷ついた言葉です。言葉の暴力は、力の暴力よりもとても恐い時があります。何気ない言葉が、

相手の心を傷つける。これも、一種のいじめではないでしょうか。災い、私はめげずにがんばりましたが、気の弱い人は自殺だって考えてしまふでしょう。杏も一度はそう考えましたが、いじめっ子を心の中で殺す方法を考えました。自分が耐えるほど、一方で誰かが死ぬというのです。私は、この考えには賛成はできないと思います。私は、ひどい言葉を言った人も含め、出会ったみんなを友達と認めているからです。みんな大切な友達です。でも、いじめられた人は、そんなことは思えないのが当然でしょう。できることなら、殺してやりたいと思うでしょう。私も、一度心細い思いをした一人です。この気持ちを忘れずに、人に接していきたいなと思います。

文化財ポスターは森田鮎美さん（手賀小三年）が町長賞



森田鮎美さんの作品



小島恵海さんの作品



坂本雅之君の作品

「平成五年度文化財愛護・防火デーポスターコンクール」の表彰式が、一月二十七日に図書館で行われ、町長賞に手賀小学校三年生の森田鮎美さんの作品が選ばれました。応募作品は昨年より五十点も増えて二百一点。なかでも小学一年生の作品が五十五点もありました。審査にあたった玉造中学校の小野口和章先生は「玉造町にはたくさん古い文化財が残されていて、みなさんはそれを守っていかなくてはなりません。そういう意識を持つためにコンクールが行われています。これからも玉造町の文化財があなたかく守られるような作品を描いてください」と講評を述べています。

文化財愛護・防火デー ポスターコンクール入賞者 (敬称略)



賞名	なまえ	学校・学年
町長賞	森田 鮎美	手賀小3年
町議会議員賞	小島 恵海	玉造中1年
教育長賞	坂本 雅之	羽生小4年
文化財顕彰賞	石島 由奈	玉造小1年
	鬼澤 ひとみ	玉造小5年
	安達 恵	現原小5年
教育部長賞	茂木 洋介	玉造中1年
	大場 由希	玉造小1年
	田宮 祥子	手賀小6年
佳作	滝ヶ崎 薫	玉川小6年
	川島 裕一	玉造西小2年
	熊谷 恵一	手賀小6年
	宮河 毅	手賀小6年
	理崎 祐子	手賀小1年
	森田 瞳	羽生小3年
	齊藤 裕子	玉造中1年

「鳥名木家文書」が県有形文化財に指定

玉造町手賀の鳥名木家に伝わる所蔵文書の「鳥名木家文書」が、このほど茨城県の有形文化財に指定されました。古文書では県内で二番目の指定となります。

鳥名木家文書は、一二九七年（永仁五年）から江戸時代初期にわたる四十一一点の古文書。「芹沢文書」とともに、行方郡における中世文書の双壁といわれています。

文書は、財産を譲る際の「譲状（ゆすりじょう）」や霞ヶ浦に海賊がいたことが書かれた書状などで室町時代の在地領主の存在を知るうえで貴重な資料となっています。

鳥名木家は、中世以来の旧家で鎌倉時代中期から室町時代にかけて、鳥名木の地を本拠に勢力を張っていた。今回県指定を受けた鳥名木家文書は、平成元年に町指定を受けています。



「芹沢文書」とともに、郡内における中世文書の双壁といわれる「鳥名木文書」



みんながんばった町民駅伝

優勝は、「玉川ブルーナイ
ンA」と「現原女子複合A」



優勝した玉川ブルーナインAチームのアンカー

「第十一回玉造町民駅伝大会」が二月六日に泉の総合運動場周辺周回コースで行われ、玉川ブルーナインAチームと現原女子複合Aチームが優勝しました。



女子の部優勝の現原女子複合Aチームのアンカー

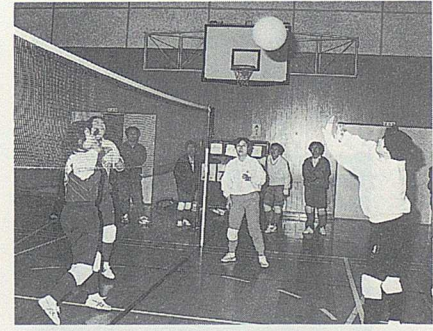
の。結果は次のとおりです。
◎スポーツ少年団男子の部
一位 玉川ブルーナインA
(56分46秒)

二位 手賀サッカーA
(58分24秒)
三位 玉川ブルーナインB
(1時間2分23秒)
四位 羽生剣道
(1時間3分33秒)
五位 玉造山王サッカーA
(1時間3分36秒)
六位 羽生野球
(1時間4分4秒)

▼区間賞
一区：宮崎一成(玉川ブルーナイン)、二区：大河剛(手賀サッカーA)、三区：幡谷和則(羽生剣道)、四区：小貫孝(玉川ブルーナインA)、五区：熊谷恵一(手賀サッカーA)、六区：宮崎勇樹(玉川ブルーナインA)、七区：田中将之(玉川ブルーナインA)

中年すぎの軽スポーツはこれだ

「第二回ふれあいソフト
バレーボール大会」



◎スポーツ少年団女子の部
一位 現原女子複合A
(59分59秒)
二位 玉川ミニバスケットA
(1時間3秒)

三位 手賀ミニバスケットA
(1時間3分12秒)
四位 玉川ミニバスケットA
(1時間4分5秒)
五位 玉造山王ミニバスケット
(1時間6分12秒)
六位 現原女子複合B

幅広い年齢層の軽スポーツとして注目されている、ソフトバレーボール大会が、一月三十日の日曜日にB&G海洋センターアリーナで行われ、荒宿スポーツクラブチームが優勝しました。

大会には、「浜スポーツクラブ」から三チーム、「竹の塙」、「荒宿スポーツクラブ」、「津フナツツ」、「玉造フレンズ」、「和らぎ会」の八チームが参加。競技は二ブロックに分かれてのリーグ戦。

ソフトバレーボールは、一チーム四人(男子一人、女子三人)の構成。六人制バレーボールのようにコート内のポジションをサーブ権をとると動くローテーションで行われる。コートの広さは、ほぼバドミントンコートの広さ。

(1時間6分54秒)

▼区間賞
一区：平間亜衣(現原女子複合A)、二区：河野祐子(現原女子複合A)、三区：大曾根宏美(現原女子複合A)、四区：根本千明(玉川ミニバスケットA)、五区：鈴木典子(玉川ミニバスケットA)、六区：石川麻衣(現原女子複合A)、七区：生井沢舞美(現原女子複合A)

文芸

短歌

玻璃戸透く冬陽をためていく
鉢の洋蘭匂ふ部屋に通さる
笹目久子
元旦を祝う人群かき火に映し
出されて拍手を打つ
郡司春枝
寒の入り知らせる電話老ひ母
の張りある声が風邪を引くと
鈴木節子
蜻蛉も余り飛ばざり刈りあと
に実り少なき稲捨てられて
小沼正藏

ごみとして埋めしを畠耕せば
藁は地球が食したるらし
高塚麻子
晩年の母の言葉のきれぎれが
胸を刺しきぬ香たるときに
久米妙子
ひたむきな花の姿が好のましく
初春へ求めしシクラメンの

(訂正)

一月号の久米妙子さんの短歌で、「早日」は「早暁」の誤りでした。訂正いたします。

俳句教室

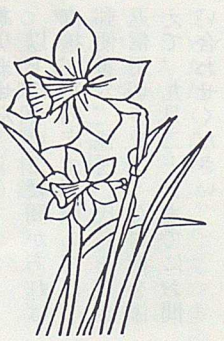
公民館まつり俳句教室
芦舟の置かれしまゝに日脚伸ぶ
永野一碩
草枯や国府跡てふ石二つ
掛札野風
お茶室の少し開けある水仙花
飯島伸子
よそ行きの顔たしかめる初鏡
小島てる代
孫の声寝正月でもまゝならず
遠藤輝子
客布団干して冬陽のほしきま
武田淳子
背を丸む吾が影も伸び日脚伸ぶ
小谷草洞

酔少し残る年賀の客迎う
鈴木雄生
群雀とめて冬木の幹強し
奥田尚子
初茶の湯喉潤して意を正し
鈴木初代
凶作の年への別れ除夜の鐘
鈴木初代
お元日苦楽重ねし共白髪
大和田まさる
白肌にしみる土の香大根引く
島田敏子
刻々と登り歩みて破魔矢受く
飯島その
立ち昇る煙一筋村初日
長谷川鶏頭子
あれあれと言う間に昇る初日の出
茂木孝子
釘袋腰に大工の初仕事
藤本峰
屠蘇をつぐ厨の妻を待つばかり
川島草人

俚謡教室

兼題「は・つ・ゆ・き」
初のお目見得積もらぬまゝに
雪がはかなく消えてゆく
義一
腹に納めたつらさも増して
夢で痛むか傷のあと きよ女
母の味噌汁漬物煮物 譲る味
付け着付けまで 幾代
「ハイ」とうなずき連れ添いま

した 夢もはかなく消えた
満喜
花の色香を摘むのも不憫
許
すつものり金屏風 夢情
母の形見のつむぎの袷 結城
手織りの生地良き 竹堂
母は夜なべの辛さも見せず
結城紬の砧打ち 和代
初日輝く筑波の峰に 雪もま
ぶしい切り通し いなほ
新春を迎えて杖から離れ 夢
が叶うた喜寿の宴 久子
初めましてとつ、ましかった
夢見心地で決めました(婚
約成立) 美代
母の香りの漬物味を ゆずり
受けます記録帳 せい子
話はずんでついうとうと
夢がこころがる今日の空 琴子
肌合う人つかまえました
夢が叶った金屏風 草女
母の看護にうたた寝の
夢の続きが気にかゝる 青声
春の麗らに浮きくくと
夢も寝覚めの木曾の旅と
母もあきれつつばり娘行
方知れずじや気も晴れぬ
翠峰
母の土産が詰まった袋 往き
も帰りの汽車の旅 正人
初のお見合いつ、まじやかに
湯呑み差し出す気もそぞろ
才依
春の行楽つれない雨に 行こ
か止めよか気ももめる 正花



春の足音つくしも目覚め
緩
むせ、らぎ気も弛む 茂伸
春の陽気につい誘われて 湯
の香尋ねりや気も晴れる
藤娘
腹に二人目待つ娘御 夢も
ふくらむ気もはずむ 有美
母に送った細の着物 ゆきの
長さが気にかゝる 咲子
母が仕立てた細の着物 夢が
ふくらむ着た姿 しず女
母が引きずる冷たい過去を
許す親父の気の広さ(ドラ
マ「かりん」より) 勇人
初春の日の出に筑波も映えて
夢もふくらむ今日の空 釣月
初日の出を連れ立ち孫と
夢を祈って気も新た 育子
姑の叱言が辛くて泣いた 行
こか戻るか木戸の陰 せつ子
春が来たねと椿の花が 雪の
化粧で清く咲く 房子
春は名ばかり筑波の峰に 雪
の化粧の清らかさ 喜代
遙か彼方に筑波を眺め 揺れ
る白波季節風 栄子
晴れて添いたい細の美人 夢
の絆か気もそぞろ 茶水

(募)(集)(し)(ま)(す)

食生活改善推進員

ただいま玉造町保健相談センターでは、健康づくりの世話役・案内役として活躍していただく『食生活改善推進員』を募集しています。

正しい食事やバランスのとれた食事は健康の基本です。自分で食生活を改善しようとするとき、いろいろ難しい問題にぶつかります。そんなとき、生活経験から「生きた知恵」を貸してくれる相談相手がいたらと思いませんか？それが食生活改善推進員です。ふるってご応募ください。

▼募集対象 推進員となつてボランティア活動を実践していただける熱意のある婦人。
▼募集人員 五十人
▼活動月 五月から翌年の二月。
▼締め切り 三月三十一日(木)
▼申し込み及びお問い合わせ先 玉造町保健相談センター(公五五―三二四〇)

県政モニター

募集人員 五十人

▼応募資格 県内に住む二十歳以上の方で、常勤の公務員や地方公共団体の議員でない方
▼任期 二年(平成六年四月から平成八年三月まで)
▼仕事の内容 県政について自由な意見や要望を報告したり、アンケートへの回答。モニター会議への出席。施設見学会への参加。

▼応募締切 三月十五日(火)当日消印有効
▼応募方法 「県政モニター申込書」(役場企画商工課に用意してあります)に記入のうえ、茨城県知事公室広報課(〒三二〇水戸市三の丸一五―三八)

通信制生徒

県立水戸南高校

働きながら高校を卒業できます。
▼願書受付 三月七日(月)～三月三十一日(木)
▼願書請求先 玉造町役場企画商工課
▼応募資格 居住地または勤務先が茨城県にあって、中学校もしくはこれに準ずる学校を卒業または平成六年三月卒業見込みの者。新制中学を卒業していない方は水戸南高校にお問い合わせ下さい。

善意銀行

○%：五万円(NOWプロレス(株)から)
○%：二千三百三十三円(玉川幼稚園から一円募金)
○%：一千元(手賀小一年樽見志保君外十名)
○%：一万円(河原無行さんから)
○%：電動式介護用ベッド(鈴木俊太郎さんから)

平成七年歌会始のお題及び詠進歌の詠進要領

■平成七年歌会始のお題「歌」と定められました。

■詠進歌の詠進要領

①詠進歌は自作の歌で一人一首とし、未発表のものに限り
②用紙は半紙(和紙)とし、毛筆で自書してください。ただし、海外から詠進する場合は用紙は随意とし、毛筆でなくとも差し支えありません。
③病気または身体障害のため自書することができない場合は、他人が代筆しても差し支えありませんが、代筆の場合には、別の紙に代筆の理由、代筆者の住所及び氏名を書いて詠進歌に添えてください。
なお、視覚障害の方は、点字で詠進しても差し支えありません。
④書式は半紙を横長に用い、右半分にお題と歌、左半分に郵便番号、住所、氏名(本名、ふりがなつき)、生年月日及び職業(なるべく具体的に)を縦書きで書いてください(書式図参照)。無職の場合は、「無職」と書いてください(以前に職業に就いたことがある場合に

書式図

歌

郵便番号、住所	氏名
ふりがな	生年月日

(約33センチメートル)

場合には、なるべく元の職業を書いてください。なお、主婦の場合は、単に「主婦」と書いても差し支えありません。
■詠進の期間
お題の発表の日から九月三十日までとし、郵送の場合は消印が九月三十日までのものを有効とします。
■郵便のあて先
〒100 東京都千代田区千代田一番一 宮内庁」とし、封筒に「詠進歌」と書き添えてください。詠進歌は、小さく折って封入しても差し支えありません。
以上について疑問があれば直接、宮内庁式部職あてに、郵便番号、住所、氏名を書き返信用切手をはった封筒を添えて、九月二十日までにお問い合わせください。

三月十五日が納期限です

所得税の確定申告

平成五年分の所得税の確定申告は三月十五日(火)までとなっています。

所得税は、自分の所得の状況を最もよく知っている皆さん自身が、税法に従って自分の所得と税法を正しく計算し期限内に申告・納税するという「申告納税制度」を採用しています。

▼確定申告が必要な方

①事業をしている場合、不動産収入のある場合及び土地や建物を買った場合などで、平成五年中の所得金額の合計額から所得控除等の合計額を差し引き、その金額を基に算出した税額が配当控除額を超えるとき
②サラリーマンで、給与の年収が一千万円を超えるとき、給与所得や退職所得以外の所得金額の合計額が二十万円を超えるとき
▼白色申告の方も収支内訳書の添付を
不動産所得や事業所得、山林所得のある人で、確定申告書を提出する人は、その年の総収入金額や必要経費の内容を記載した収支内訳書を添付してください。

請求はお済み?

恩給欠格者・引揚者のみなさん

総理府の認可法人である平和祈念事業特別基金では、恩給欠格者(外地勤務の経験があり、加算を含めた在職年三

年以上の方)に、内閣総理大臣名の書状・銀杯などを贈呈しています。
同じく、引揚者(先の大戦の終戦に伴い、本邦以外の地域から引き揚げてきた方のうち、昭和四十二年法律第一四号による特別交付金を受けた方)に、内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。
現在まで、多くの方から請求を受けていますが、まだ請求されていない方は請求してください。
▼請求先 平和祈念事業特別基金業務第一課(〒一一二東京都文京区大塚五―三三三) 〇三―三九四五―四七〇四。なお、請求書類は役場町民課福祉係(公五五―〇一一一)にあります。

国の教育ローン

在宅看護婦さん、ナースバンク登録を

医療が進んだことや高齢化社会がやってきたことで、看護面がますます重要になってきて、看護婦(士)さん・保健婦(士)さん・助産婦さんが不足しています。
そこで、仕事から離れている有資格者の皆さんに就業し

▼利用できる方 次の学校に入学・在学される方の保護者(または本人)
高等学校・高等専門学校、短期大学、大学、大学院、専修学校、各種学校、予備校(認可されたもの)など
▼融資額 学生・生徒一人につき百五十万円以内
▼返済期間 八年以内(据置期間は、在学期間内で最長四年)
▼利率 年四・一%(平成六年一月十日から)
▼使いみち 入学時に必要な費用(入学金・受験費用等)、在学中に必要な費用(授業料・交通費・下宿代等住居費用)

▼保証 (助教育資金融資保証基金または保証人
詳しくは国民金融公庫土浦支店(公〇二九八―二二一四一四一)へ。

平成六年度補装具・補聴器の巡回相談

補聴器の巡回相談

◎補装具(午前十時～正午

1/5(金)：潮来町津知公民館

2/5(金)：麻生町中央公民館

3/5(金)：玉造町役場

4/5(金)：北浦村中央公民館

5/5(金)：麻生町中央公民館

6/5(金)：潮来町津知公民館

7/5(金)：北浦村中央公民館

8/5(金)：麻生町中央公民館

9/5(金)：潮来町津知公民館

10/5(金)：北浦村中央公民館

11/5(金)：麻生町中央公民館

12/5(金)：潮来町津知公民館

13/5(金)：北浦村中央公民館

14/5(金)：麻生町中央公民館

15/5(金)：潮来町津知公民館

16/5(金)：北浦村中央公民館

17/5(金)：麻生町中央公民館

18/5(金)：潮来町津知公民館

わかさぎを増やそうと

玉造漁協が人工ふ化

昔と比べ減少しつつあるわかさぎの漁獲量を増やそうと玉造漁業協同組合（羽生誠組合長）では、一月二十六日に八木蒔の舟だまりで、わかさぎの人工授精を行いました。早朝、沖にかけてあった網に捕獲したわかさぎをオスとメスに分別。メスからの卵にオスの精子をかけ、しゅろで作ったマットに付着させる。

授精卵は、舟だまりの湖水にしばらくおくと、水温の合計が百度（だいたい二十日前後）になるとふ化し始め稚魚が誕生。やがて沖に出て成魚



となります。

わかさぎ漁も、とるだけの漁から育てとる漁へと変わってきました。



(上) 沖でわかさぎを捕かく
(中) メスの卵とオスの精子
(右) マットに付着させる

誕生おめでとう いざいざいざ

出産

(1月受け付け分)

ところ	氏名	年齢
西谷	赤ちゃん	続柄 保護者
舟津	西谷直樹	長男 秀一
竹の塙	根本達哉	長男 芳男
舟津	高塚優稀	長男 竜明
竹の塙	小沼奈央	長女 弘明
上宿	鈴木侑乃	長女 義浩

おちやみき 申上げます

死亡
(1月受け付け分)

ところ	氏名	年齢
谷島	雨谷ふみ	八四

お金を役立てて！ と、手賀小一年生

「お金を人のために役立ててくください」と、手賀小学校の一年生たちが千円を町の善意銀行に届けました。一月十一日の学校の帰り道のことです。一年生たち十一人が竹の塙の十字路にさしかかったとき、右側方向から車が来たので、子どもたちは全

員立ち止まり、待っていて車を通してあげました。すると、車を運転していたおじさんは「ありがとう」と言ってくんやを置いていったそうです。一年生たちは、そのお金を人のために役立てたいと考え校長先生を通じて、一月十三日に町の善意銀行に寄付しました。町では一年生たちの善意にとても喜んでくいます。これから交通安全に気をつけてくくださいね。

春の全国火災予防運動 防火の輪 つなげて 広げて なくす火事

3月1日～7日

天ぷらを揚げるときは
その場を離れない



※掲載を望まないときは、届出の際か、もしくは役場企画商工課（☎五〇一〇一一）へご連絡ください。

西谷	高須	谷島	上宿	羽生	小座山	西谷	藤井	西蓮寺	浜古屋	根古屋	竹の塙	諸井
高橋	関本	益口	石津	坂原	野能	郡司	飯島	飯島	荒井	関野	高塚	新堀
野本	峯	誠	満	よ	郎	夫	つ	ル	ヨ	一	衛	壽
八六	七一	八一	七九	五四	五八	八八	九三	六八	九〇	八二	七二	七三